



RESOLUTION No. 49) PALESTINE AND THE MIDDLE EAST

第49号決議案: パレスチナと中東

(第40号決議案、第41号決議案、第43号決議案および
第40号決議案に対する第15号修正案の統合決議)

第29回国際公務労連 (PSI) 世界大会
2012年11月27日 - 30日、南アフリカ・ダーバン

以下を留意する

- PSIは主権を持ち、独立し、民主的で、領土が連続した、生存可能なパレスチナ国家が創立され、安全なイスラエルとの共存が実現しないかぎり、中東の平和と安定に変化は訪れないこと
- 平和のための長期的解決策に不可欠なのは、組織労働者の抵抗である。よって、世界大会は、集団でアクションをとり、結束と平和を築く共通の利益を認識する必要性を強調しながら、引き続き平等の人権と国際法を支持するパレスチナとイスラエル双方の労働者組織の関係を構築することを決議する。
- PSIは国際法に違反する、あらゆる形態の不正を非難するが、ヨルダン川西岸の占領とガザの封鎖、イスラエル人による違法入植地が同地域の不安定と暴力を長期化させていると考える。
- 世界大会は、ガザ孤立を終結させることが、紛争解決に重要な一歩であると信じ、ガザ封鎖を解除し、イスラエルによるヨルダン川西岸の占領を止め、入植を全面的に撤収させることを求める。

さらに、国際法に反してイスラエルが、壁や検問を使い、パレスチナ人の家屋を破壊しながら土地を大規模に併合していることは、西岸の生存権を奪い、独立したパレスチナ国家の潜在能力を損なうための故意の戦略であることに留意する。

したがって、パレスチナ当局とパレスチナ解放機構が、国際連合によるパレスチナ国家の即時認識に名乗りを上げたことについて、パレスチナ労働組合総連盟が国際労働組合運動に対して支援を呼びかけていることを支持する。

PSIに対し、以下を指示する。:

- パレスチナ国家の認識を求めるPGFTUの呼びかけを支持すること。
- 他のグローバルユニオン・フェデレーションと協力し、占領に加担している企業に対して、占領地である西岸および東エルサレムの違法入植地と工業地帯から経済活動を撤退するよう訴えるキャンペーンを展開する。
- 入植地と工業地帯におけるパレスチナ人労働者の搾取を暴き、中止に向けて取り組む。
- イスラエル政府に影響力と圧力を行使して国連決議案の尊重と順守を約束させ、またパレスチナの土地の不法な占拠と入植、そして天然資源の搾取を止めさせるために可能な限りの手段を講じるよう世界の労働組合運動に呼びかけることを求める。
- 教育機会を提供し効果的な連帯行動を拡大するために、パレスチナそして小地域全体で民主的な労働組合組織の構築を助け、パレスチナ労働組合員と同国の姉妹兄弟間での連絡を促すためのリソースを約束するよう訴える。

加盟組合に以下を求める:

国際公務労連 (PSI) は世界150カ国の2000万人の公共サービス労働者を代表する国際的な労働組合連合組織である。PSIは人権を擁護し、社会正義を提唱し、万人が利用できる質の高い公共サービスを促進しており、国連機関と協力し、労働団体や市民社会団体などの諸団体と提携して活動している。

- パレスチナ国家の認識を求めるPGFTUの呼びかけを支持し、各国政府に働きかけて同様の支持を求めること。
- 相互尊重と自決、パレスチナ人のための正義、イスラエルの安全保障に基づいて交渉された解決を通じて、長期的な平和を確保することを自国政府と国際社会に建議すること。
- 占領と関連があり、イスラエルの入植と分断壁に関与する企業の投資撤退を求めるキャンペーンを行うことにより、さらに占領地からの生産物の輸出に対するあらゆる免除も拒否する国際法の適用を強化することによって、イスラエルによるパレスチナ人の領土の占領を止めさせ、分断壁の除去と違法入植の撤去を行うための圧力を高めること。
- 欧州連合加盟国政府に対して、生産物のトレーサビリティ（追跡可能性）に関する欧州法を適用するよう要求すること
- 企業の社会的責任の枠組みの中で、当該企業の従業員と行動を共にして、彼らが違法入植地におけるあらゆる活動や違法入植地に関連するあらゆる活動をやめるようすること
- イスラエルに設立された企業とイスラエル政府に対して、国際労働機関（ILO）の8本の中核的条約に従って、しかもリオ+20会議の最終決議の結論に明記されている通りに、すべての人のディーセントワークを尊重するよう圧力をかけること

行動プログラムおよび規約を含む大会決議[Congress resolutions](#) を参照のこと